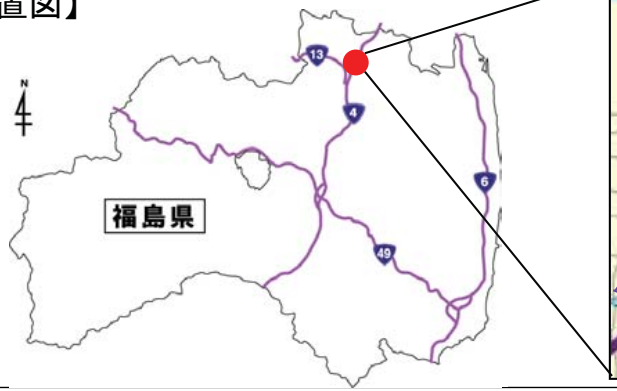
一般国道4号

鎌田（かまた）地区の事故対策

（平成27年3月対策済）

各種事故対策の実施により、
①死傷事故が減少（6.2件/年→3.0件/年）
②急ブレーキの発生回数が約５割減少

【位置図】



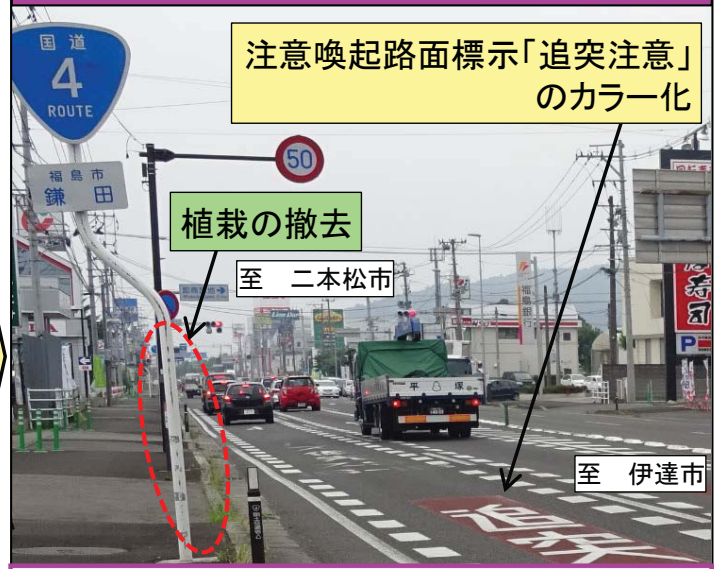


整備前



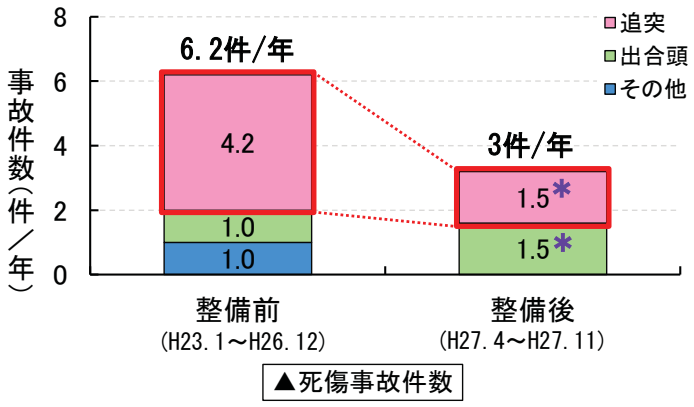
- 注意喚起路面標示はあるが、依然として追突事故が発生
- 植栽があるため、歩道部の見通しが悪く、沿道への出入の際に危険

整備後



- 注意喚起路面標示のカラー化により、ドライバーの注意意識が向上
- 植栽の撤去により、歩道部の見通しが確保され、安全性が向上

各種事故対策の実施により 死傷事故が減少

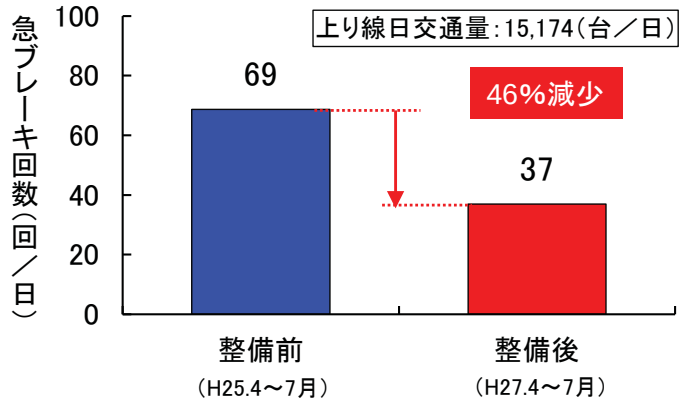


▲死傷事故件数

＊追突事故、出合頭事故それぞれ1件/8ヶ月

※H22～H25イタルダデータ、H26～H27福島県警察事故原票データ

各種事故対策の実施により 急ブレーキの発生回数が減少



▲日交通量あたりの急ブレーキ発生回数

※民間プローブデータ（上り線側）、H22交通センサス（上り線側）

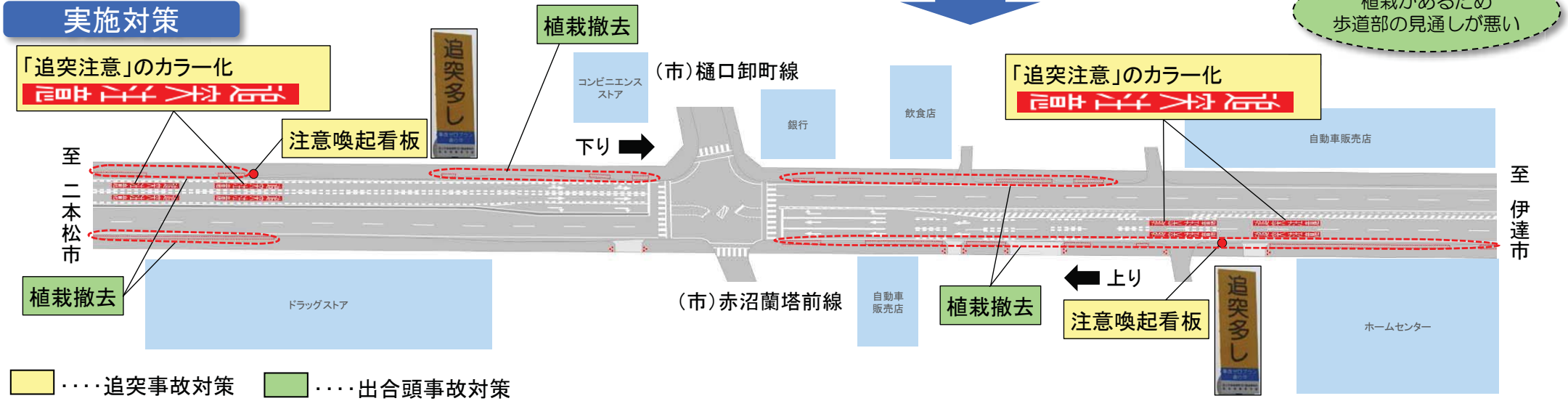
実施対策 ～追突事故・出合頭事故の対策を実施～

整備前の問題点

- 市街地で交通量が多く、また前後が長い直線区間で速度が出やすいため、急減速・急停止の対応ができず追突事故が発生。
- 沿道出入り口において、植栽があるため歩道を通行する自転車歩行者を発見しにくく危険。



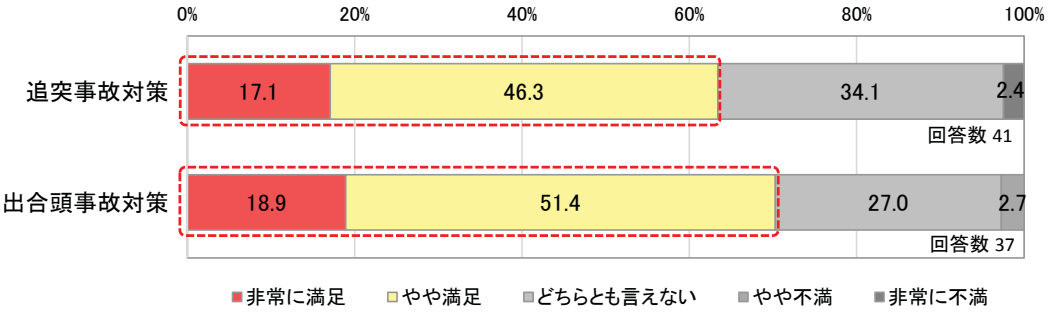
実施対策



その他の実施効果

■ドライバーの6割以上が追突事故対策に満足、約7割が出合頭事故対策に満足

事故対策の満足度



【一般ドライバーの声】

- 追突注意などの表示を見て、スピードに気をつけるようになった。
- 赤ではっきりと追突注意と道路に書かれていて分かりやすい。
- 標示があることで意識が向上し、速度を落とすことが多くなった。
- 追突注意の標識は自然と目に入り、注意して運転している。
- 視界が広くなり十分に安全が確認されるようになった。
- 植栽が撤去され自転車等を発見しやすくなった。

※H27一般ドライバーWEBアンケート